

令和 8 年度

人吉高等学校 定時制課程

シラバス

1 年

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	開講 学年	1年
----	----	----	-------	-----	---	----------	----

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 実社会に必要な国語の知識や技能を習得するとともに、語彙を豊かにし、言葉のきまりなどについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 実社会における諸課題を解決するために、論理的に思考し、情報を多角的な視点から整序して構造化したり、その妥当性を吟味したりして、考えを形成する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 言葉のもつ価値を認識するとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、進んで実社会の諸課題を解決しようとする態度を養う。</p>
------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	【読書】①	<p>(知 技) 人定図書室の図書の配置や貸し出しのルールを習得し、興味ある本の選書ができるようになった。</p> <p>(思判表) 読書の持つ意味について考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 学力向上に深く関わりがある読書活動に興味関心を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 選書し読書する (思判表) 選書し読書する (主体性) 選書し読書する</p>
	<p><世界を広げる>⑥ なぜ本を読むのか (又吉直樹) * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 話し言葉と書き言葉の特徴・常用漢字の文や文章の中での活用・語彙の獲得・例示などの修辞等を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができるようになった。</p> <p>(思判表) 論理の展開を的確に捉え、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、要旨を把握することができるようになり、自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫することができるようになった。</p> <p>(主体性) 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解し、読書の効用について考え、学習課題に従ってまとめようという態度を養うことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p><言葉が開く世界>⑦ 言葉遣いとアイデンティティ(中村桃子)</p>	<p>(知 技) 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、話し言葉と書き言葉の特徴・常用漢字の文や文章の中での活用・語彙の獲得・例示などの修辞等を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができるようになった。</p> <p>(思判表) 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深め、自分の意見や考えを論述することができるようになった。</p> <p>(主体性) 本文を読んで自分の考えを深め、実社</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価・発表 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>

		会から求めた題材を用いて検証し、考えたことを発表しようという態度を養うことができるようになった。	
	【言語事項】② ＜漢字の学び直し＞	(知 技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 (主体性) 習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。	(知 技) 課題考査 (思判表) 課題考査 (主体性) 課題プリント
前期期末 まで (16 時間)	＜言語活動＞④ 書いて伝える 書き方の基礎レッスン * 単元テスト	(知 技) 文章の効果的な組み立て方や接続のしかた、修辞法、情報と情報との関係等を理解することができるようになった。 (思判表) 自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開、根拠の示し方や説明のしかた、表現のしかた等を工夫できるようになった。 (主体性) 自分の考えが的確に伝わるよう工夫を凝らし、学習課題に沿ってまとめようという態度を養うことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【言語事項】① 漢字・語句の意味	(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。	(知 技) 課題考査 (思判表) 課題考査 (主体性) 課題プリント
	＜人間と文化＞⑧ 水の東西(山崎正和) * 単元テスト	(知 技) 常用漢字の文や文章の中での活用・語彙の獲得・文章の効果的な接続のしかた等を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができるようになった。 (思判表) 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について、自分の意見や考えを論述することができるようになった。 (主体性) 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようという態度を養うことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	＜意見を述べる＞③ * 生活体験作文	(知 技) 意見文の書き方を理解し、実際に意見文を書くことができるようになった。 (思判表) 意見文をもとに発表することができるようになった。 (主体性) 意見文を書いたり他の人の意見を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げようとすることができるようになった。	(知 技) ワークシート 定期考査 (思判表) ワークシート 発表 相互評価・自己評価 定期考査

			(主体性) 授業態度・発表 課題提出
後期中間 まで (18時間)	<現代と社会>⑦ イースター島になぜ森がないのか(鷺谷いづみ) * 単元テスト	(知 技) 常用漢字の文や文章の中での活用・語彙の獲得・例示などの修辞等を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができるようになった。 (思判表) 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察し、自分の意見や考えが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫し論述することができるようになった。 (主体性) 本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうという態度を養うことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	<言葉が開く世界>⑦ 言語としてのピクトグラム (本田弘之) * 単元テスト	(知 技) 言葉の認識や思考を支える働き・常用漢字の文や文章の中での活用・語彙の獲得等を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができるようになった。 (思判表) 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深め、自分の意見や考えを論述することができるようになった。 (主体性) 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って解釈したことをまとめ発表しようという態度を養うことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価・発表 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【読書】①	(知 技) 人定図書室の図書の配置や貸し出しのルールを習得し、興味ある本の選書ができるようになった。 (思判表) 読書の持つ意味について考えることができるようになった。 (主体性) 学力向上に深く関わりがある読書活動に興味関心を持つことができるようになった。	(知 技) 選書し読書する (思判表) 選書し読書する (主体性) 選書し読書する
	【言語事項】③ <漢字の学び直し>	(知 技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 (主体性) 習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。	(知 技) 課題考査 (思判表) 課題考査 (主体性) 課題プリント
後期期末 まで (16時間)	<現代と社会>⑦ 黄色い花束(黒柳徹子) * 単元テスト	(知 技) 話し言葉と書き言葉の特徴・常用漢字の文や文章の中での活用・語彙の獲得・例示などの修辞等を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができるようになった。 (思判表) 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、コソボの話題と筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いに	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト

		<p>ついて考えを深め、自分の意見や考えを論述することができるようになった。</p> <p>(主体性) 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉え、自分の考えを書こうという態度を養うことができるようになった。</p>	<p>定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【言語事項】② ＜漢字の学び直し＞</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題考査 (思判表) 課題考査 (主体性) 課題プリント</p>
	<p>＜社会と人間＞⑦ 人はなぜ仕事をするのか (内田樹) * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 話し言葉と書き言葉の特徴・常用漢字の文や文章の中での活用・語彙の獲得・例示などの修辞等を理解し、主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができるようになった。</p> <p>(思判表)、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察し、自分の意見や考えを論述することができるようになった。</p> <p>(主体性) 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉え、読み取ったことを説明しようという態度を養うことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
<p>終業式 まで (4 時間)</p>	<p>【言語事項】④ ＜漢字の学び直し＞</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題考査 (思判表) 課題考査 (主体性) 課題プリント</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】 高等学校標準現代の国語 (第一学習社) 【その他】 「常用漢字ダブルクリア」「実践文字カトリプルチェック」(尚文出版)</p>
<p>学習方法</p>	<p>【主体的な学び】 に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復習に力を入れ、教科書・ノート・ワークシートをよく見直し内容を再確認し、疑問点を明らかにする。 ・ 文章を正確に読み取るように努める。 ・ 板書を写すだけでなく、必要に応じてメモをとる習慣を身に付ける。 <p>【対話的な学び】 に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見・感想を持つことから始め、考えを文章にまとめることを繰り返す。 ・ 授業者や他の生徒の意見、先哲の考え方などにも耳を傾け、自身の考えに生かす。 <p>【深い学び】 に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項を本時の学習内容と関連付けて、自分の考えをより深いものとし、さらに自分の考えを作り上げる。

評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none">・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none">・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト・発問に対する解答や反応等・ノート・ワークシート・課題作文等 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none">・出席・授業態度・ノート（振り返りができているか）・提出物
------	---

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	公民	科目	公共	単位数	2	開講 学年	1年
----	----	----	----	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>何ができるようになるか</p> </div>	<p>公共的な見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、自立した主体として国家・社会の形成に参画するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 公共的な空間における基本的な原理を理解するとともに、現代社会の諸課題を解決するための法や経済などの仕組み、政治の在り方について理解を深め、諸資料から情報を適切に収集し、整理したり読み取ったりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 現代社会の諸課題について、事実を基に多角的・多層的に分析し、公共的な空間における人間としての在り方に関わる倫理的価値や公共の精神などに照らし、合意形成や意思決定を視野に入れながら論理的に考察し、自らの考えを根拠とともに説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 現代社会の諸課題への関心を高め、それらを主体的に解決しようとする態度を養うとともに、よりよい社会の形成に向けて、他者と協働して誠実に参与しようとする態度を養う。</p>
--	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
<p>前期中間 まで (16時間)</p>	<p>第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち</p> <p>①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして</p> <p>主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任</p> <p>主題3 司法参加の意義 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間をつくる存在であることを学ぶことができるようになる。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会需要に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解することができるようになる。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現することができるようになる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間をつくる存在であることについて多面的角的に考察し、表現することができるようになる (主体性) ・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決することができる。 	<p>(知 技)</p> <p>考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>前期期末 まで (16時間)</p>	<p>第3章 公共的な空間における基本的原理</p> <p>①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間をつくる上で必要であることについて理解できるようになる。 ・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解できるようになる。 	<p>(知 技)</p> <p>考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出</p>

	<p>④日本国憲法に生きる基本的原理 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利 主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 主題3 司法参加の意義 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加</p>	<p>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けるようになる。 (思判表) ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できるようになる。 (主体性) ・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決できるようになる。 ・契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<p>第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉 主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和 主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛</p>	<p>(知 技) ・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解できるようになる。 ・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解できるようになる。 ・主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解できるようになる。 (思判表) ・中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できるようになる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるようになる。 (主体性) ・政治参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決することができるようになった。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決できるようになる。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>

	争 ③国際社会における日本の役割		
後期期末 まで (16時間)	主題8 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和 主題9 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割	(知 技) ・日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を理解できるようになる。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解できるようになる。 (思判表) ・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できるようになる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現ができるようになる。 (主体性) ・日本の安全保障と防衛について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	((知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
終業式 まで (4時間)	①日本の財政の課題 ②社会保障と国民福祉 ③これからの社会保障	(知 技) ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解できるようになる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けるようになる。 (思判表) ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるようになる。 (主体性) ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：高等学校 新公共（第一学習社） 【その他】：各種メディアからの情報、日本国憲法の条文
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】に関して ・わからない文章や言葉があれば、「チェック」を付け、できるだけ調べておくこと。 ・教科書を読んで、「なぜ?」「どうして?」と思ったことを記録しておくこと。 【対話的な学び】に関して ・疑問に思ったことや与えられた課題に対して、自分なりの考えをもって授業に参加すること。 ・わからなかったことや疑問に思っていたことを、クラスの仲間と対話しながら解決しようとする姿勢で授業に参加すること。 【深い学び】に関して ・クラスの仲間や先生との対話から、新しい発見や、さらなる疑問を見出し、それまでの自分の見方や考え方よりも、より広く深い見方や考え方ができるようになることを目指すこと。

<p>評価方法</p> <p>学習到達状況をどのように確認するか</p>	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 単元ごとの課題レポートや定期考査 <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 定期考査・ 調べ学習の発表 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none">・ Google Classroomによるシート提出・ 学習課題や授業に取り組む態度
--------------------------------------	---

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3	開講 学年	1年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">何ができるようになるか</p>	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析における基本的な概念や性質を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 数学的な手法等を用いて、論理的に考察する力、事象の本質を捉え、数学的に表現し、根拠を明らかにしつつ筋道立てて説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 数学のよさを認識し、数学を問題解決や意思決定に活用しようとする態度、粘り強く考え、数学的活動を振り返って検討し、よりよいものを求めようとする態度を養う。</p>
---	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (24 時間)	<p>●数と式 整式</p> <p style="text-align: center;">13 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字式のきまりにしたがって文字式を表すことができる。 ・単項式と多項式について理解できる。 ・整式を降べきの順に整理できる。 ・整式の加法・減法の計算方法がわかる。 ・指数法則を用いて計算できる。 ・単項式どうしの乗法ができる。 ・単項式×多項式，多項式×多項式の計算ができる。 ・乗法公式の理解を深めることができる。 ・式の展開を，公式を利用して処理することができる。 ・因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・因数分解を，公式を利用して処理することができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数量を文字式で表すことができる。 ・単項式と多項式を合わせて整式ということがわかる。 ・同類項をまとめることや，かっこを外すことを利用して，整式の加法・減法を考察できる。 ・単項式どうしの計算では，係数どうし・文字どうしをかければよいことがわかる。 ・式を1つの文字で置き換えるなどして，式を多面的に捉えることができる。 ・特定の文字に着目したり，式を1つの文字で置き換えたりして，式を多面的に捉えることができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのいろいろな数量を文字式で表そうとしている。 ・中学校で学んだ内容をふり振り返りながら，整式の理解を深めようとしている。 ・整式の加法・減法の計算方法を学び，問題を解こうとしている。 ・中学校で学んだ内容をふり振り返りながら，整式の乗法を考えようとしている。 	<p>知 技 ABC</p> <p>思判表 ABC</p> <p>主体性 ABC</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・数の計算に乘法公式を利用して考えようとしている。 ・数の計算に因数分解の公式を利用して考えようとしている。 	
	<p>実数</p> <p>11時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$\sqrt{\quad}$を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・分数と小数について基本的な計算ができる。・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分母を有理化する意義がわかる。 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだ内容をふり返りながら、$\sqrt{\quad}$を含む式の計算の理解を深めようとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程を調べようとしている。 	<p>知 技 ABC</p> <p>思判表 ABC</p> <p>主体性 ABC</p>
前期期末 まで (24時間)	<p>方程式と不等式</p> <p>11時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次方程式を解くことができる。 ・不等式を満たす範囲を図示できる。 ・不等式の性質が理解できる。 ・1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式を解くことができる。 ・不等式を利用する際に、すでに学んだ知識を利用できる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象を1次方程式で表せる。 ・数量関係を不等式で表せる。 ・不等式の性質を、数直線を用いて考察できる。 ・不等式の性質を基に1次不等式の解き方を考察できる。 ・連立不等式の解と、1つ1つの不等式の解の関係を考察できる。 ・日常の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象を、1次方程式を用いて考えようとしている。 ・数量関係を不等式で表すことのよさが分かる。 ・等式の性質をふり返りながら不等式の性質を考えようとしている。 ・1次方程式の解き方と関連づけて1次不等式を考えようとしている。 ・1次不等式の解法をふり返りながら連立不等式を解こうとしている。 ・具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。 	<p>知 技 ABC</p> <p>思判表 ABC</p> <p>主体性 ABC</p>
	<p>●2次関数 関数とグラフ</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数とは何かが理解できる。 ・関数の値を求めることができる。 	<p>知 技 ABC</p> <p>思判表 ABC</p> <p>主体性 ABC</p>

	<p>1 3 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 次関数のグラフをかくことができる。 ・ 1 次関数のグラフと、x 軸、y 軸との交点を求めることができる。 ・ $y = ax^2$ のグラフがかける。 ・ $y = ax^2 + q$ のグラフがかける。 ・ $y = a(x - p)^2$ のグラフがかける。 ・ $y = a(x - p)^2 + q$ のグラフがかける。 ・ $y = ax^2 + bx + c$ の式を $y = a(x - p)^2 + q$ の形に変形できる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 次関数のグラフの特徴を考察できる。 ・ $y = ax^2 + bx + c$ の式を $y = a(x - p)^2 + q$ の形に変形（平方完成）したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・ 2 次関数の式とグラフとの関係について、平行移動の考えを用いるなどして多面的に考察できる。 ・ コンピュータなどを使って、いろいろな 2 次関数のグラフをかき、その特徴を調べることができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りの事象で、関数の関係になっているものを調べようとしている。 ・ 2 次関数のグラフについて、中学校で学んだ 1 次関数のグラフをふり返って考えようとしている。 	
<p>後期中間 まで (27 時間)</p>	<p>2 次関数の値の変化</p> <p>1 5 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 次関数の最大値・最小値が理解できる。 ・ 2 次関数 $y = a(x - p)^2 + q$ の最大値・最小値を求めることができる。 ・ 2 次方程式を、因数分解の公式を用いたり、解の公式を用いたりして解くことができる。 ・ 2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解できる。 ・ 2 次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標を求めることができる。 ・ 2 次不等式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解できる。 ・ 2 次不等式を、2 次関数のグラフを用いて解くことができる。 ・ x^2 の係数が負の数のときの 2 次不等式を解くことができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ について、適切に式変形をして、最大値・最小値を求めることができる。 ・ 定義域に制限がある 2 次関数の最大値・最小値について考察できる。 ・ 日常の事象について、2 次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。 ・ 2 次関数のグラフと x 軸との共有点が 1 つの場合や共有点がない場合について考察できる。 ・ 2 次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない 2 次式について、2 次方程式の解の公式を利用して考察できる。 ・ 2 次関数のグラフと x 軸との共有点が 1 つの場合や共有点がない場合の 2 次不等式について考察でき 	<p>知 技 A B C</p> <p>思判表 A B C</p> <p>主体性 A B C</p>

		<p>る。</p> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな2次関数について、最大値・最小値を求めようとしている。 ・具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小を利用しようとしている。 ・いろいろな2次関数について、x 軸との共有点を調べようとしている。 ・1次関数のグラフと1次方程式との関係をふり返って考えようとしている。 ・いろいろな2次不等式を解こうとしている。 ・$D=b^2-4ac$ の符号を用いて、2次関数のグラフ・2次方程式・2次不等式の間関係をふり返ってまとめようとしている。 	
	<p>●集合と論証</p> <p>1 2 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合に関する基本的な概念を理解できる。 ・集合を、要素をかき並べて表すことができる。 ・集合の補集合を求めることができる。 ・2つの集合の和集合・共通部分を求めることができる。 ・命題に関する基本的な概念を理解し、簡単な命題の真偽を調べることができる。 ・否定について理解し、条件の否定をつくることができる。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件について理解できる。 ・真である命題を元にして、必要条件と十分条件を答えることができる。 ・命題の逆をつくり、その真偽を調べることができる。 ・命題の対偶をつくることができる。 ・対偶を利用する証明をする際に、すでに学んだ対偶などの知識を利用できる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和集合と共通部分の違いについて考察できる。 ・集合と命題の関係を考察できる。 ・真である命題の逆は、必ずしも真であるとはいえないことを考察できる。 ・対偶ともとの命題の真偽が一致することを、集合を用いて考察できる。 ・対偶を利用して、簡単な命題を証明することができる。 ・背理法を利用して、簡単な命題を証明することができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象を、集合を用いて表そうとしている。 ・いろいろな文やことがらについて、命題といえるかどうかを調べようとしている。 ・身の回りの話題から、命題を考察して、必要条件、十分条件、必要十分条件を考えようとしている。 ・いろいろな命題について、粘り強く証明しようしたり、証明の過程をふり返って考えようしたりしている。 	<p>知 技 A B C</p> <p>思判表 A B C</p> <p>主体性 A B C</p>

<p>後期期末 まで (24 時間)</p>	<p>●データの分析</p> <p>10 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを棒グラフで表すことができる。 ・データを折れ線グラフで表すことができる。 ・データを円グラフで表すことができる。 ・データを帯グラフで表すことができる。 ・度数分布表を適切に読み取れる。 ・度数分布表に整理されたデータをヒストグラムで表すことができる。 ・データの平均値を求めることができる。 ・データの中央値を求めることができる。 ・データの最頻値を求めることができる。 ・データの四分位数や四分位範囲を求めることができる。 ・データを5数要約で表すことができ、それをもとに箱ひげ図をかくことができる。 ・データの分散や標準偏差を求めることができる。 ・四分位範囲を用いて、データの外れ値を調べることができる。 ・平均値と標準偏差を用いて、データの外れ値を調べることができる。 ・散布図をかくことができる。 ・相関係数の意味が理解できる。 ・具体的な事象を通して、仮説検定の考え方や手順を理解できる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析するデータによって、適切なグラフがどれであるかを考察できる。 ・グラフからどのようなことがわかるか考察できる。 ・相対度数を調べることで、それぞれの階級の割合を考察できる。 ・平均値、中央値、最頻値それぞれの特徴を考察できる。 ・データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。 ・箱ひげ図からどのようなことがわかるか考察できる。 ・複数のデータの散らばり具合を調べ、考察することができる。 ・外れ値を用いてデータを批判的に考察できる。 ・2つのデータの間にはどのような関係があるか考察できる。 ・具体的なデータを元に、表を活用するなどして、相関係数を求める方法を考察できる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、身の回りの事象を批判的に考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表そうとしている。 ・身の回りのいろいろな統計グラフから、データの特徴を考えようとしている。 ・度数分布表やヒストグラムの良さがわかり、いろいろなデータを整理しようとしている。 ・身の回りのいろいろなデータを集め、代表値を求め 	<p>知 技 A B C</p> <p>思判表 A B C</p> <p>主体性 A B C</p>

		<p>ようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのいろいろなデータを集め、散らばり具合を調べようとしている。 ・散らばり具合を調べることの良さがわかる。 ・外れ値を調べることの良さがわかり、いろいろなデータで調べようとしている。 ・身の回りの現象で正の相関関係があるものと負の相関関係があるものについて、調べようとしている。 ・仮説検定の考え方の良さがわかる。 	
	<p>●三角比 三角比 三角比の応用</p> <p>1 4 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相似な三角形を利用して、辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表を用いて、いろいろな角の三角比の値を求めることができる。 ・具体的な長さや高さを求める際に、すでに学んだ三角比の知識を利用できる。 ・三角比の相互関係について理解できる。 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鈍角の三角比を理解できる。 ・鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。 ・面積の公式を用いて、三角形の面積を求めることができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角定規の三角形について、三平方の定理を用いるなどして考察できる。 ・直角三角形において、2 辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの 1 辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1 つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・座標や鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値が求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1 つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・三角形の面積の公式を導く過程を考察することができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだ相似な三角形や三平方の定理をふり返って考えようとしている。 ・いろいろな直角三角形について、三角比の値を求め 	<p>知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C</p>

		<p>ようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形において、三角形の大きさにかかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 ・校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとしている。 ・1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められる三角比の相互関係の良さがわかる。 ・鈍角まで拡張した三角比について、鋭角の三角比をふり返って考えようとしている。 ・中学校で学んだ三角形の面積の求め方をふり返りながら、面積の公式を考えようとしている。 	
<p>終業式 まで (6時間)</p>	<p>三角比の応用 6時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理を用いて、三角形の辺の長さを求めることができる。 ・正弦定理を用いて、三角形の外接円の半径を求めることができる。 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さを求めることができる。 ・三角形の3辺が与えられたとき、角度を求めることができる。 ・具体的な長さや高さを求める際に、すでに学んだ正弦定理や余弦定理の知識を利用できる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理を導く過程を考察することができる。 ・余弦定理を導く過程を考察することができる。 ・余弦定理と三平方の定理の関係を考察することができる。 ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな図形について、正弦定理を用いて考えようとしている。 ・いろいろな三角形について、余弦定理を用いて考えようとしている。 ・余弦定理と三平方の定理を関連づけて考えようとしている。 ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい身の回りの距離などを求めようとしている。 	<p>知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】：実教出版 高校数学 I 【その他】：</p>
<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」という疑問を大切に、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。

<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について 定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【思考・判断・表現】について 定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 授業中の発表、質問、課題への取り組み等によって評価します。</p>
--	--

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2	開講 学年	1年
----	----	----	---------	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <p>何ができるようになるか</p>	<p>科学的な見方・考え方を働かせ、科学的な探究の過程を通して、日常生活や社会との関連を図りながら、自然の事象を科学的に捉える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 自然の事象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるとともに、科学的な基礎知識を日常生活や社会と関連付けて理解し、科学と人間生活との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 観察、実験などを行い、日常生活や社会との関連において自然の事象の中から課題を見いだし、科学的に探究し、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 自然の事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学を生活や社会に生かそうとする態度を養う。</p>
--------------------------------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	<p>序編「科学技術の発展」</p> <p>生きる 人間生活の歴史</p> <p>第1編 物質の科学</p> <p>第1章 材料とその再利用</p> <p>①金属と人間生活</p> <p>②身のまわりの金属と製錬</p> <p>③金属のさびとその防止</p> <p>④プラスチックとその性質</p> <p>⑤プラスチックの成りたち</p> <p>⑥さまざまなプラスチック</p> <p>⑦資源の再利用</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な金属の内部構造や共通する性質を整理し、物質の成り立ちを体系的に習得する。 ・鉄、銅、アルミニウムの物理的・化学的特性を理解し、それらが社会のどのような場所で活用されているかを結びつけて理解する。 ・資源から金属を取り出す「製錬」の仕組みを学ぶとともに、金属の宿命である「腐食（さび）」の原理とその防止技術について理解を深める。 ・多様なプラスチックが、単量体の重合による高分子化合物であることを理解し、熱や薬品に対する性質の違いを学ぶ。 ・身近なプラスチック製品の素材特性や、燃焼時に発生する物質が環境に与える影響について正しい知識を身につける。 ・ガラス、金属、プラスチックの再資源化プロセスを学び、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の具体的な実践方法を習得する。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属結合や自由電子のふるまいをモデルとして活用し、金属特有の性質がなぜ現れるのかを論理的に説明する。 ・金属の性質（電気伝導性、熱伝導性、強度など）に基づいて、工業製品にその素材が使われている理由を多角的に考察する。 ・金属の製錬や酸化還元反応の過程を、図表や化学的な用語を用いて順序立てて表現する。 ・資源の有効活用における現状の課題を分析し、持続可能な社会を実現するために自分たちがとるべき行動について、根拠を持って考察する。 ・金属とプラスチックの性質を対比し、それぞれのメリット・デメリットを整理して、用途に応じた素材の使い分けについて自分の考えをまとめる。 <p>(態度)</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期考査 ・実験の操作（思判表） ・実験の考察 ・定期考査（主体性） ・授業の振り返り ・定期考査

		<p>・授業で学んだ材料科学の知見を、身のまわりの製品選びやゴミの分別といった日々の生活習慣と結びつけ、主体的に環境問題の解決に貢献しようとする意欲を養う。</p>	
<p>前期期末 まで (16時間)</p>	<p>第2編 生命の科学 第2章 微生物とその利用 ①身の回りの微生物 ②微生物とその発見の歴史 ③発酵食品への微生物の利用 ④乳酸発酵とアルコール発酵 ⑤医薬品への微生物の利用 ⑥生態系における微生物 ⑦環境の浄化と微生物</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微生物の生息場所や種類について理解できた。 ・微生物に関わる一連の科学史を理解できた。 ・乳酸発酵およびアルコール発酵について理解できた。 ・ワクチンや抗生物質などの医薬品の製造に微生物が関わっていることを理解できた。 ・炭素循環と窒素循環に微生物が関わっていることを理解できた。 ・汚水や環境の浄化に微生物が利用されていることを理解できた。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微生物を培養する実験から、微生物が生息する場所について考察できるようになった。 ・微生物の科学史についての学習を通して、目に見えない微生物を調べる方法について考察できるようになった。 ・発酵食品に含まれる微生物の観察を通して、発酵食品と微生物との関わりについて考察できるようになった。 ・土壌中の微生物を確認する実験を通して、生態系における微生物の役割を説明できるようになった。 ・活性汚泥の観察を通して、下水処理のしくみについて説明できるようになった。 <p>(態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとする姿勢が身に付いた。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・授業の振り返り ・定期考査
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<p>第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 ①光の色 ②光の直進と反射 ③光の屈折と全反射 ④光の分散と散乱 ⑤光の回折と干渉 ⑥電磁波 ⑦電磁波の利用</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白色光はあらゆる色の光が混ざったものであることを理解できた。 ・光の色と波長の関係について理解できた。 ・光の直進性について理解できた。 ・光の反射について理解できた。 ・偏光と自然光について理解できた。 ・光の屈折について理解できた。 ・光の分散、光のスペクトルについて理解できた。 ・光の散乱について理解できた。 ・光の回折について理解できた。 ・光の干渉について理解できた。 ・電磁波の分類と利用について理解できた。 <p>(思判表)</p> <p>光の3原色から白色の光をつくり出すにはどうすればよいか説明できるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の屈折について学習したことから、お椀の底にコインを置いて水を注ぐことでコインの見え方が変わる理由を説明できるようになった。 ・屈折率について学習したことを利用して、ガラスの屈折率を測定することができるようになった。 ・さまざまな光源からの光のスペクトルを観察し、そ 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・授業の振り返り ・定期考査

		<p>れぞれの特徴をまとめることができるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の散乱について学習したことから、昼間の空が青く、夕焼けが赤く見える理由を説明できるようになった。 ・光の干渉について学習したことから、しゃぼん玉が虹色に見える理由を説明できるようになった。 ・電磁波の性質について学習したことから、山かげで受信しやすいのは、AM放送とFM放送のどちらか考察できた。 <p>(態度)</p> <p>光の性質とその利用についての学習内容を、日常生活や身近な現象に結び付け、意欲的に理解しようとする姿勢が身に付いた。</p>	
<p>後期期末 まで (16時間)</p>	<p>第4編 地球や宇宙の科学 第2章 自然景観と自然災害</p> <p>①日本列島とプレート ②地震のしくみと地震活動 ③地震による災害 ④マグマがつくる火山と景観 ⑤火山がもたらす恵みと災害 ⑥水のはたらきと自然景観 ⑦土砂災害と洪水</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の内部構造について理解できた。 ・地震発生のしくみを理解できた。 ・地震によって発生する災害について理解できた。 ・マグマの性質や溶岩の噴出量と、火山の形の関係について理解できた。 ・火山がもたらす恵みと、火山活動による災害について理解できた。 ・風化と流れる水のはたらきによって、山が低くなることを理解できた。 ・侵食、運搬、堆積のはたらきと、形成される地形について理解できた。 ・平野の地形と、土砂災害の関係について理解できた。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地層圧縮のモデル実験を通して、断層の形成と地形の変化の関係について説明できるようになった。 ・日本列島のプレート分布と、地震の発生について関連づけて説明できるようになった。 ・マグニチュードと震度の違いを説明できるようになった。 ・過去の地震災害の情報や、地形や地層の特徴から、今後の地震災害の危険性について考察できた。 ・火山噴出物の観察を通して、そのでき方を説明できるようになった。 ・地形の成因と、土砂災害との関係について理解し、今後の災害の危険性について考察できるようになった。 <p>(態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島周辺のプレート分布と、地震や火山の活動について関連付けて意欲的に理解しようとする姿勢が身に付いた。 ・地震災害、火山災害、土砂災害のしくみを理解し、地形と災害の危険性について積極的に考察することができた。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期考査(思判表) ・定期考査(主体性) ・授業の振り返り ・定期考査
<p>終業式 まで (4時間)</p>	<p>終章 これからの科学と人間生活 授業の総括</p>	<p>(知 技)</p> <p>これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深めることができるようになった。</p> <p>(思判表)</p> <p>これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現することができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント(思判表) ・授業プリント(主体性) ・授業の振り返り

	(態度) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めることができた。	り
--	--	---

使用教材 参考図書	【教科書】：科学と人間生活（数研出版）
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける前に教科書をしっかりと読んでおくこと。 ・疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印を付けておくこと。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問点の解決及び授業目標の達成に向けてクラスメイトと協力して授業を受けること。 ・作成したまとめプリントを相互に閲覧し合い、まとめ方の創意工夫や他者の視点を学び合うこと。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で作成したまとめプリントを用い、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。 ・授業内容に関する探究の問いを見だし、調べ学習を行うこと。
どのよう に学ぶか	
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験操作」、「単元テスト」、「定期考査」など <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験の考察」、「単元レポート」、「定期考査」など <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業の振り返り」、「定期考査」など
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	開講 学年	1年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>何ができるようになるか</p> </div>	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 各種運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに、運動の意義や効果、学び方などを理解できるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 運動の特性に応じた自己の課題を見いだし、合理的、計画的な練習やきまりの工夫などを通して、課題の解決に向けた取組を工夫するとともに、自己や他者の考えを尊重し、合意形成を図るなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 運動に親しむとともに、ルールなどを尊重し、自己の責任を果たしたり、互いに協力したりして運動を実施しようとする態度、健康・安全を確保しようとする態度、スポーツを多角的に捉えて親しもうとする態度などを養う。</p>
--	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	◎体づくり運動 ●球技Ⅰ (バドミントン・ソフトテニス) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●安定したラケットの操作ができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
前期期末 まで (16時間)	●ダンス	(知 技) ●感じを込めて踊ったり自己や仲間の課題を解決したりできるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	●球技Ⅱ (バレーボール) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	
後期中間 まで (18時間)	●球技Ⅲ (バドミントン) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
後期期末 まで (16時間)	●球技Ⅳ (バスケットボール・サッカー) ※ゴール型 ◎体育理論	※ゴール型 (知 技) ●空間を作り出す動きができるようになった。 (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・端末での感想 (主体性) ・出席状況 ・授業態度

終業式 まで (4 時間)	◎体育理論 ※後期期末考査後から	※体育理論 (知 技) ●文化的特性や現代スポーツの発展について理解することができるようになった。	
---------------------	---------------------	--	--

使用教材 参考図書	【教科書】： なし 【その他】： なし
学習方法 どのような に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの課題に対してアドバイスを聞いたり、練習したりする。 ・ 種目の特性やルール、行い方などを調べる。 ・ 皆と協力して活動する。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間の課題に対してアドバイスしたり、課題を共有したりして改善するよう話し合う。 ・ 動画を確認して互いの課題解決に向けて練習する。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決の実践方法を得るなど、合理的な実践ができるように、ICT を有効活用し、課題解決に向けた調べ学習などを行う。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スキルテスト（実技）、端末等を使って動画撮影によるスキルテスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動、端末等を使っての授業の感想の提出 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の点呼（出席状況）、授業態度 等
準備物	Chromebook 等の端末、 運動のできる服（夏：半袖シャツ、ハーフパンツ 冬季：上下ジャージ） 体育館シューズ、グラウンドシューズ※運動のできない服装での参加は不可。例：ジーパン、スカート、制服 等

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	開講 学年	1年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯にわたって自他共に健康を保持増進し、健やかで活力ある社会を形成する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 知識及び技能 健康の保持増進や疾病の予防、安全な社会生活などについて、科学的な根拠に基づいて理解し、健康に関する情報を適切に選択し、活用する技能を身に付けるようにする。
	(2) 思考力、判断力、表現力 個人及び社会生活における健康・安全に関する諸課題を見だし、その解決に向けて思考し判断するとともに、自分の考えを根拠とともに説明したり、議論したりする力を養う。 (3) 学びに向かう力、人間性 健康・安全に関する諸課題を主体的に解決し、生涯にわたって自他共に健康を保持増進しようとする態度を養う。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (8時間)	●安全な社会生活 22. 応急手当の意義とその基本 23. 心肺蘇生法 ※実習 24. 日常的な応急手当 19. 事故の現状と発生要因 20. 安全な社会の形成 21. 交通における安全	(知 技) ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解することができた ②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを理解することができた ③速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができた ④事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて理解することができるようになった ⑤日常的な応急手当と心肺蘇生法の手順が理解でき、実施することができるようになった (思判表) 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念を基にして整理したり、個人の及び社会生活と関連付けたりして、自他の課題を発見し、それらを表現することができるようになった (主体性) 安全な社会生活を営むために自ら適切な意志決定と行動選択ができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・小テスト (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況 ・ノート
前期期末 まで (8時間)	●現代社会と健康 1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康	(知 技) ①健康課題について各種の指標や疾病構造の変化を通して理解することができるようになった ②健康水準の向上、疾病構造の変化にともない、個人や集団の健康について考え方も変化してきていることについて理解することができるようになった ③生活習慣のリスクを軽減するためには、調和のとれた生活を続けることが必要であることを理解することができるようになった。 ④健康的な生活と定期的な健康診断やがん検診を受診	(知 技) ・定期考査 ・小テスト (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況

		<p>することが必要であることを理解できるようになった。</p> <p>⑤喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようになった</p> <p>⑥薬物乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行なってはならないことを理解できるようになった</p> <p>⑦精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、調和のとれた生活を実践すること、早急に心身の不調に気付くことの重要性について理解できるようになった。</p> <p>⑧感染症は時代や地域によって発生等に違いが見られること、感染症のリスクを軽減し予防するためには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信などが重要であることを理解できるようになった。</p> <p>⑨健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて理解できるようになった。</p> <p>(思判表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート
後期中間 まで (9時間)	<p>●現代社会と健康</p> <p>9. 喫煙と健康</p> <p>10. 飲酒と健康</p> <p>11. 薬物乱用と健康</p> <p>12. 精神疾患の特徴</p> <p>13. 精神疾患の予防</p> <p>14. 精神疾患からの回復</p>	<p>現代社会と健康について、課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それら表現することができるようになった</p> <p>(主体性)</p> <p>将来の自らの健康をつくっていくための生活習慣を改善する行動ができるようになった</p>	<ul style="list-style-type: none"> (知 技) ・定期考査 ・小テスト (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況 ・ノート
後期期末 まで (8時間)	<p>●現代社会と健康</p> <p>15. 現代の感染症</p> <p>16. 感染症の予防</p> <p>17. 性感染症・エイズとその予防</p> <p>18. 健康に関わる意思決定・行動選択</p> <p>19. 健康に関する環境づくり</p>	<p>現代社会と健康について、課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それら表現することができるようになった</p> <p>(主体性)</p> <p>将来の自らの健康をつくっていくための生活習慣を改善する行動ができるようになった</p>	<ul style="list-style-type: none"> (知 技) ・定期考査 ・小テスト (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況 ・ノート
終業式 まで (2時間)	<p>●1年間の復習</p>	<p>(思判表)</p> <p>健康についての自他や社会の課題を見付けることができるようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (思判表) ・ノート

使用教材 参考図書	<p>【教科書】： 現代高等保健体育</p> <p>【その他】：</p>
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を事前に読み、大事なところに線を引いたり、分からないことをメモしたりして授業時に質問できるようにしておく。(予習) ・スライドから大切と感じたことをノートにメモをとる。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの中で、自分の考えを伝えたり、相手の意見を聞き、大切なところはメモをとるようにする。 ・分からないところがあれば積極的に質問をする。 ・友人が困っている時には指示を伝えたり、ノートを見せたりする。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、興味のあることや分からないところの調べ学習を行う。 ・ジグソー活動などで、自ら情報を集め、それらを整理してまとめる。
どのよう に学ぶか	
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元テスト</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>グループワークの活動、ワークシートの振り返りや自らの評価等を参考に評価する</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p>
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

	<p>出席状況や授業態度を基本に、自らの健康安全に向けた態度が身に付いているか、実習等の態度や授業に取り組む態度で評価する</p>
--	---

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2	開講 学年	1年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、書道への関心を高め、書写との関連を図りつつ、伝統的な書を継承し、書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書道の幅広い資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 書道の基礎的な知識や技能を習得し、創意工夫して表現する力を養う。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 書道の伝統と文化について理解を深め、書を多角的に鑑賞する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 書を創造的に表現し、主体的に鑑賞する活動を通して、書道の美しさを味わい、書道を生活に生かそうとする態度を養う。</p>
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	<p>【巻頭】① 巻頭 書道で学習すること 書写から書道へ 用具・用材 姿勢・執筆法 【漢字の書】① はじめに 1、漢字の変遷とさまざまな書体 調和させて書いてみよう 中学書写の確認（好きな漢字一字） <作品鑑賞></p>	<p>（知 技）書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解し、小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを理解できるようになった。 （思判表）中学校書写の学習を振り返り、表現を工夫して書くことができるようになった。 （主体性）中学校書写での漢字と仮名の調和の学習を振り返り、意欲的に取り組むことができるようになった。 【鑑賞】自身や他者の作品を客観的に観察し、その特質を的確にとらえ、自己の表現活動に生かすことができるようになった。</p>	<p>（知 技） ワークシート 作品 定期考査 （思判表） ワークシート 作品 定期考査 （主体性） 作品 授業態度</p>
	<p>文字の造形を学ぶ 楷書⑭ ① あなたはどの楷書が好き？ ② 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 ア、孔子廟堂碑 イ、九成宮醴泉銘 ウ、雁塔聖教序 エ、顔氏家廟碑 オ、牛橛造像記・鄭義下碑 カ、隅寺心経 ※鑑賞を始めよう</p>	<p>（知 技）楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解し、古典に基づいた表現を身に付けることができるようになった。 （思判表）楷書の古典や書風に即した用筆・運筆、字形全体の構成について工夫し、楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができるようになった。 （主体性）さまざまな楷書の古典の美しさと、その技法に関心をもち、表現技法を高めることができるようになった。</p>	<p>（知 技） ワークシート 作品 定期考査 （思判表） ワークシート 作品 定期考査 （主体性） 授業態度 作品提出</p>
前期末 まで (16時間)	<p>行書⑯ ア、蘭亭序 イ、争坐位文稿 ウ、蜀素帖 エ、風信帖 ※三筆・三跡の書</p>	<p>（知 技）行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解し、古典に基づいた表現を身に付けることができるようになった。 （思判表）行書の古典や書風に即した用筆・運筆、字形全体の構成について工夫し、行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができるようになった。</p>	<p>（知 技） ワークシート 作品 定期考査 （思判表） ワークシート 作品 定期考査 （主体性）</p>

		(主体性) さまざまな行書の古典の美しさと、その技法に関心をもち、表現技法を高めることができるようになった。	授業態度 作品提出
	【創作】⑥ 人定祭の作品制作	(知 技) 創造的な書表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの表現の技法を身に付けて表現することができるようになった。 (思判表) 自己の表現の狙いを達成するために、古典の持つ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫することができるようになった。 (主体性) 漢字の書の作品制作に関心をもち、意欲的に取り組むことができるようになった。	(知 技) ワークシート 作品 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 定期考査 (主体性) 授業態度 作品提出
	【篆刻 刻字】⑧ 自用印を刻す	(知 技) 篆刻の技法を理解し、自用印を刻す技能を身に付けて表すことができるようになった。 (思判表) 篆刻の技法を学び、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫することができるようになった。 (主体性) 落款の意味や役割等、篆刻に関心をもち、意欲的に取り組むことができるようになった。 【鑑賞】自身や他者の作品を客観的に観察し、その特質を的確にとらえ、自己の表現活動に生かすことができるようになった。	(知 技) ワークシート 作品 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 定期考査 (主体性) 授業態度 作品提出
後期中間 まで (18 時間)	【草書】① 真草千字文 【隷書】① 曹全碑 【篆書】① 泰山刻石 【創作】⑦ 高書展の作品制作	(知 技) 草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解して表すことができるようになった。 (思判表) 草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができるようになった。 (主体性) 書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情をもち、意欲的に取り組むことができるようになった。 (知 技) 創造的な書表現をするために、用具・用材、線質、字形、全体の構成などの表現の技法を身に付けて表すことができるようになった。 (思判表) 自己の表現の狙いを達成するために、古典の持つ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫することができるようになった。 (主体性) 漢字の書の作品制作に関心をもち、意欲的に取り組むことができるようになった。 【鑑賞】自身や他者の作品を客観的に観察し、その特質を的確にとらえ、自己の表現活動に生かすことができるようになった。	(知 技) ワークシート 作品 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 定期考査 (主体性) 授業態度 作品提出

<p>後期期末 まで</p>	<p>【生活の中の書】④ 硬筆 はがき・手紙の書式・金封 の表書き 年賀状</p>	<p>(知 技) 書道の学習で身に付けたことを生かし、暮らしの中に書を生かすことができるようになった。 (思判表) 書道の学習で身に付けたことを生かして、暮らしの中に書を生かす工夫ができるようになった。 (主体性) 暮らしの中に書を生かそうと、暮らしに生きる書に関心をもち、表現技法を高めることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 作品 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 定期考査 (主体性) 授業態度 作品提出</p>
<p>後期期末 まで (16 時間)</p>	<p>【仮名の書】⑫ 仮名の成立と種類 文字の造形を学ぶ ア、仮名の筆使い イ、平仮名 ウ、変体仮名 エ、蓬萊切 オ、高野切第三種 カ、関戸本古今和歌集・ 元永本古今和歌集 キ、受け継がれる仮名の書 ク、継色紙 ケ、寸松庵色紙 コ、升色紙</p>	<p>(知 技) 線質や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成等の表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、鑑賞の方法や形態について理解し、仮名の古筆に基づいた表現を身に付けられるようになった。 (思判表) 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫し、仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができるようになった。 (主体性) 仮名の成立に関心をもち、意欲的に取り組むことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 作品 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 定期考査 (主体性) 授業態度 作品提出</p>
<p>終業式 まで (4 時間)</p>	<p>【生活の中の書】④ 写真と書</p>	<p>(知 技) 古典や名筆のよさや美しさを生かして表現する技法を身に付けることができるようになった。 (思判表) 古典や名筆の美しさを感じ取り、自己の表現の狙いを達成するために、自らの表現意欲を高め、表現を工夫することができるようになった。 (主体性) 表現の構想から完成に至るまで、意欲的、主体的に表現活動に取り組むことができるようになった。 【鑑賞】自身や他者の作品を客観的に観察し、その特質を的確にとらえ、自己の表現活動に生かすことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 作品 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 定期考査 (主体性) 授業態度 作品提出</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】書 I (光村図書) 【その他】総合篆書大字典(二玄社)、大書源(二玄社)などの字書</p>
<p>学習方法</p>	<p>【主体的な学び】に関して 自己の思いを表現するための古典及び古筆に基づいた技能を身に付ける。 【対話的な学び】に関して 鑑賞の際の言語活動で、新たな発見をする。 【深い学び】に関して 自分自身を見つめ、豊かな感性を養い、生活の中に生かす。</p>

評価方法	<p>【知識・技能】について 「作品」「ワークシート」「小テスト」「定期考査」など</p> <p>【思考・判断・表現】について 「作品」「ワークシート」「定期考査」など</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 「作品」「出席状況」「授業態度」「ワークシート（振り返りの状況）」など</p>
------	---

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3	開講 学年	1年
----	-----	----	--------------	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <p>何ができるようになるか</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、日常的話題について、英語で聞いて理解したり、話したり書いたりして情報や考えなどを伝える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 日常的話題について、英語の音声や語彙、表現、文法事項などの知識を習得し、これらを実際のコミュニケーションにおいて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの領域を統合した言語活動で活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 日常的話題について、英語で聞いて理解したり、読んで理解したりした情報や考えなどを基に、目的に応じて適切に表現し伝えたり、やり取りしたりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 英語の背景にある文化を理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、協力的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--------------------------------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (24時間)	●Get ready! ●Lesson1 ●Lesson2 ●Lesson3	<p>【読むこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について読み取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で書かれていることを主体的に読もうとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・中間考査 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中課題 ・中間考査 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度
前期期末 まで (24時間)	●Lesson4 ●Lesson5 ●Lesson6	<p>【聞くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・期末考査 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中課題 ・期末考査 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度
後期中間 まで (27時間)	●Lesson7 ●Lesson8 ●Lesson9	<p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・中間考査 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中課題 ・中間考査 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度
後期期末 まで (24時間)	●Lesson10 ●Lesson11 ●Lesson12	<p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・期末考査 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中課題 ・期末考査 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度
終業式 まで (6時間)	●年間のまとめ	<p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとするすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト (思判表) ・授業中課題 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：VISTA English Communication Ⅰ</p> <p>【その他】：補助プリント</p>
--------------	--

<p>学習方法</p> <p>どのようなように学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。</p> <p>【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。</p> <p>【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のことや自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。</p>
<p>評価方法</p> <p>学習到達状況をどのように確認するか</p>	<p>【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等</p> <p>【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等</p>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	1	開講 学年	1年
----	----	----	--------	-----	---	----------	----

学習目標 何ができるようになるか	ビジネスの見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うこと、及びビジネスの諸活動を経済社会の発展、持続可能な社会の形成などの広い視野から捉えることを通して、ビジネスを通じたより良い社会の構築に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 知識及び技能 経済社会におけるビジネスの役割、流通の仕組み、ビジネスに関する法規及びビジネスに関する倫理について理解し、ビジネスの展開に必要な基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 思考力、判断力、表現力 ビジネスに関する諸課題を見いだし、ビジネスを担う一員としての立場からその解決策を多角的に考察し、適切に判断する力を養う。 (3) 学びに向かう力、人間性 ビジネスを主体的、合理的に行おうとする態度、及び誠実で公正な態度を養う。
-------------------------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (8時間)	●第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス	(知 技) ●商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解できるようになった。 (思判表) ●商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えることができるようになった。 (主体性) ●ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった。	知 技 ・定期考査 思判表 ・提出物 主体性 ・授業態度
前期期末 まで (8時間)	●第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順 2. 代金決済	(知 技) ●取引について実務に即して理解できるようになった。 (思判表) ●取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えることができるようになった。 (主体性) ●取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった。	知 技 ・定期考査 思判表 ・提出物 主体性 ・授業態度
後期中間 まで (9時間)	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎	(知 技) ●ビジネス計算の基礎について実務に即して理解できるようになった。 (思判表) ●情報を分析して適切に必要な計算式の判断ができるようになった。 (主体性) ●ビジネス計算の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった。	知 技 ・定期考査 思判表 ・提出物 主体性 ・授業態度
後期期末 まで (8時間)	第7章 ビジネス計算 2. ビジネス計算の応用	(知 技) ●ビジネス計算の応用について実務に即して理解できるようになった。 (思判表)	知 技 ・定期考査 思判表

		<ul style="list-style-type: none"> ●情報を分析して適切に必要な計算式の判断ができるようになった。 (主体性) <ul style="list-style-type: none"> ●ビジネス計算の応用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 主体性 <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度
終業式 まで (2時間)	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	(知 技) <ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな地域のビジネスについて理解できるようになった。 (思判表) <ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善できるようになった。 (主体性) <ul style="list-style-type: none"> ●身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができるようになった。 	知 技 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 思判表 <ul style="list-style-type: none"> ・提出物 主体性 <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】 ：「ビジネス基礎 新訂版」(実教出版) 【その他】 ：①「全商ビジネス計算実務検定模擬問題集3級」(実教出版) ②独自作成プリント
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】 に関して 電卓の指使いをマスターし、企業において計算を扱う具体的な場面を想定した学習に粘り強く取り組んでください。 【対話的な学び】 に関して ビジネス計算に関する分析、解答方法や伝え方の工夫についての考察やグループでの話し合いに積極的に取り組んでください。 【深い学び】 に関して 発展的な学びとして、様々な公式や電卓をどちらの手を使用するかなど、目的に応じた適切な処理を選択できるようになってください。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】 について 定期考査、単元テスト、実技テスト 【思考・判断・表現】 について 発表、グループでの話し合い、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 について ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、自己評価や相互評価等